

評価報告概要表

■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成28年11月28日（月）

■福祉サービス事業者情報

名 称	特別養護老人ホーム 梨花の里	種 別	介護老人福祉施設
代表者氏名	松尾 暢生	開設年月日	平成21年5月
設 置 者	社会福祉法人 豊北福祉会	定員(利用人数)	60名
所 在 地	下関市豊北町大字滝部字東1042番地1		
電 話 番 号	083-784-1000	FAX番号	083-782-0121
ホームページアドレス	http://houhokufukushikai.jp		

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の良い点

施設長の優れたリーダーシップのもと、職員が一丸となって利用者に対するよりよい福祉・介護サービスの提供に取り組んでおられます。特に、職員の研修や育成、人事考課を含めた人事管理システムや各種規程の整備、職種間連携の良さは高く評価できます。介護の質においても、「おむつゼロ」達成の実績や地域生活者としての視点、ユニットに調理員を配置しての家庭的な食事の提供など、たゆまない努力をされておられます。

◇改善を求められる点

現場における手順書や記録類に関しては未整備のものが見受けられます。PDCAを循環させる仕組みの構築と併せて周知徹底のための工夫や改善が望まれます。人手不足や専門性の担保という点においても人材確保は喫緊の課題ではありますが、実習生やボランティアの積極的な受入れを含め、中長期にわたって計画的に取り組むことが肝要かと思われます。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

今回初めて第3者評価を受審し、身に余る高評価とご助言を頂きました。これを踏まえ、これからの施設運営に生かし、入居者に対するケアと職員の資質の更なる向上に努めると共に、新たに見えた課題についても改善に取り組み、当施設の運営方針である入居者の自立支援と尊厳のある生活を守り、より良いサービスが提供できるように努めてまいります。また、地域の福祉の拠点となり、地域との密な相互関係の中で施設として地域貢献を目指したいと思います。

■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

評価報告概要表

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	6	b	3	c	0	Na	0
施設長のリーダーシップのもと、地域の実情に即した福祉実践を推進されています。 地域の福祉ニーズや情報を把握、分析され、中長期的な経営戦略のもとで事業計画を策定されています。 理念や基本方針、事業計画の利用者や家族への周知については工夫が望まれます。 サービスの質の向上に向けて、評価結果を踏まえた計画的な改善策の実施については今後の課題です。								

II 組織の運営管理	a	15	b	3	c	0	Na	0
施設長は、福祉サービスの質の向上に意欲的に取り組み、指導力を発揮されています。 研修や育成、考課を含めた総合的な人事管理システムをはじめ、各種規程類の整備など、透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われています。 災害時の福祉避難所の届け出をはじめとして地域貢献にも積極的に取り組まれています。 人材確保については大きな課題であり、実習生やボランティアの積極的な受入れ体制の構築をはじめ中長期にわたっての計画的な取組が望まれます。								

III 適切な福祉サービスの実施	a	13	b	5	c	0	Na	0
利用者本位の福祉サービスの提供について、権利擁護の視点にもとづく人権の尊重やプライバシー保護などに関する規程や指針の整備、研修の実施などの体制整備が急がれます。 福祉サービスの提供に関する説明と同意、苦情解決の仕組みについては体制が確保されています。今後は利用者満足の向上に向けての取組が期待されます。 事故防止や感染症の予防、災害時の安全確保対策については、各委員会が中心となって利用者の安心・安全な環境づくりに努めておられます。 福祉サービスの実施方法、実施計画、見直し等については実施体制が確立できていますが、記録の管理体制に関しては一考を要します。								

IV 良質な個別サービスの実施	a	21	b	13	c	0	Na	0
利用者の生活環境づくり、終末期ケア、家族との連携や交流などは特に優れており、積極的に取り組まれています。 日常生活支援面においても、食事、睡眠、健康管理、所持品・預り金の管理、機能回復のサービスなどは秀でています。 今後は、職員間でサービスの質に差が出ないように、サービスの質の均一化や更なる向上に向けての取組が重要です。								